

児童福祉領域で精神分析的観点を生かすための 施設セラピスト向けワークディスカッション・グループ

【2023 年度 ご案内】

児童福祉領域で働くセラピストを対象としたワークディスカッション・グループです。児童福祉に関わる様々な過酷な現場の中で精神分析的観点を生かしていくための共に学び合う場としてご活用ください。

ご興味、ご関心のある方、一緒に学びたい方、是非ご参加を！

ワークディスカッションとは

臨床家が自らの心を用いて観察し考える力を育むための方法です。

- ・ 観察者は自らの臨床場面における心を使った詳細な観察記録を作成する。
- ・ その場で生じている相互作用や情動経験についてグループ内で討議する。
- ・ 参加者は知的な理解や答えを見つけるのではなく、心を用いて内省する。

募集内容・スケジュール

対象：児童福祉領域で働くセラピスト

※精神分析的な観点を生かした児童養護施設臨床に関心がある方

定員：10名

日程：2023年4月より、第4水曜日（6・12月休み）[全10回]

時間：19時30分～21時30分

料金：全10回35,000円(1回3,500円) ※分割払い可

開催方法：Zoomによるオンライン開催

内容：【前半30分】指定文献についてのフリーディスカッション

【後半90分】臨床素材のワークディスカッション

※指定文献：メアリー・ボストン他『被虐待児の精神分析的な心理療法』金剛出版（2022年度の続き）

アン・ホーン他『子どもの精神分析的な心理療法のアセスメントとコンサルテーション』誠信書房

申込方法・支払方法

以下のURLあるいはQRコードより、お申込みください。

グループリーダーより参加の可否について

メールでご連絡致します。

※料金の支払い方法については別途お知らせ致します。

<https://forms.gle/1XvypgJL7xCupD8y8>



グループリーダーの紹介

小笠原 貴史（おがさはら たかふみ）

臨床心理士、公認心理師、サポチル認定子どもの精神分析的な心理療法士。

現在、こうぬま心理相談室、および公立小学校スクールカウンセラー。

共編著『子どもの精神分析的なセラピストになること』金剛出版。

お問い合わせ先：info@kodomo-kazoku-kokoro.com